

市立大津市民病院初期臨床研修（概要）

市立大津市民病院臨床研修センターの基本理念

学習者個々の目標達成を全員で支援する研修体制の充実

臨床研修の基本理念（厚生労働省：臨床研修の到達目標より）

臨床研修は、医師が、医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けることのできるものでなければならない。

プログラムの特色

医療者は、研修目標として設定すべき能力（態度・技能・知識）を、2つの側面から捉えておく必要がある。1つは、医療に関する世界的レベルでの合意が歴史的経緯・現時点における業務基準・今後の方向性などに関して図られるようになり、自らの臨床能力を世界的普遍性（Universality）に照らし合わせて捉えることである。もう1つは、目前の症例に対してどのような役割を果たすべきかという個別性（Individuality）の側面から捉えることである。

学部学習の多くは、Universalityに係る項目を効率的に身につけることに費やされており、卒後臨床研修は、個別症例や地域社会に接する中から Individualityの要素を経験的に学習する機会となる。

研修医には、それぞれの眼差しで Universality と Individuality の側面から医療を捉え、自らが地域において時代に合った医療者としての役割を果たすために取り組むべき課題を My Goal として抽出していただきたい。

本プログラムは、研修医が単に与えられた学習目標に取り組むだけでなく、My Goal を目指す個々の学習様式を確立することへの支援を目的とする。（図）

| | |
|--|---|
| 医療者としての My Goal * 患者・地域に対する自らの役割 | |
| 医療の Universality * 倫理宣言・ガイドラインなど | 医療の Individuality * 患者・地域社会のニーズなど |

医療者としての情意研修に関する指針について示す。医療の Universality という側面から見ると、「ヒポクラテスの誓い」、「リスボン宣言」、「ヘルシンキ宣言」などが歴史的経緯の中で評価されている。市立大津市民病院は、この Universality と地域社会に果たすべき役割という Individuality を勘案し、「病院理念」、「医の倫理綱領」を具体的行動規範とし業務にあたっている。研修医には、医療者としての情意の歴史を理解し、「病院理念」、「医の倫理綱領」に基づき行動することを求める。